

研究力強化・若手研究者支援に関する検討状況



文部科学省

令和2年7月



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,

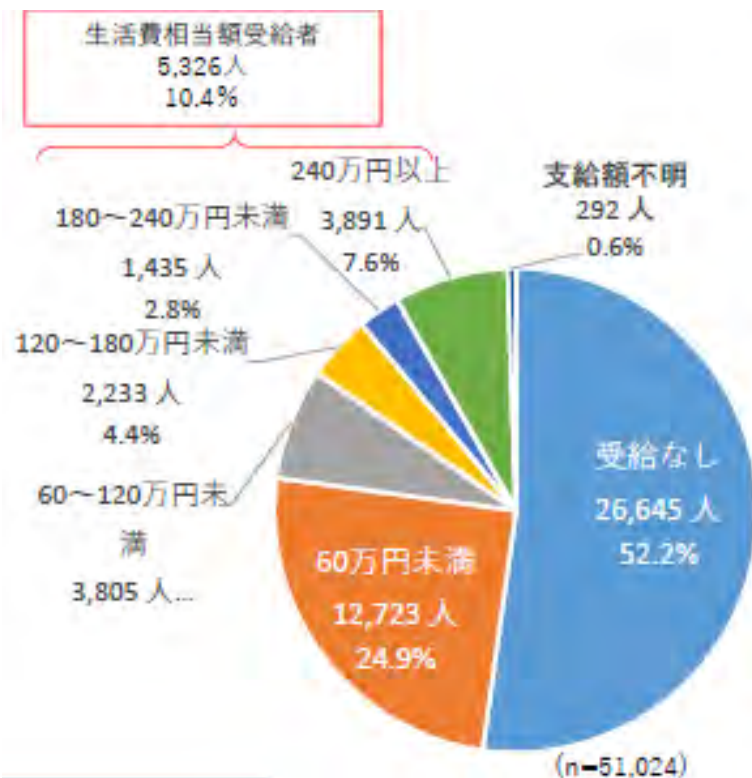
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

博士課程における処遇の向上について

博士課程における処遇の向上について

現状

- 博士課程学生への経済的支援：①教授などの主任研究員（Principal Investigator : PI）からの支援、②国から（学生個人への直接）の支援、③所属機関（大学）からの支援の3タイプ。
- 生活費相当額（年間180万円以上）の経済的支援の受給者は、博士課程学生全体の10.4%。
- 日本については、生活費相当額受給者の半数以上が、②に当たる特別研究員（DC）受給者。
- 他方、諸外国では、博士課程学生が先端研究の担い手として、PI（①）又は所属機関（③）を通じて支援。
- 日本の研究現場の現状を踏まえつつ、博士課程学生の処遇の向上について、日本型のポートフォリオを作り上げる必要性



【参考】米国研究大学における博士課程学生への支援の例

Duke University (THE世界大学ランキング20位)

➢ 54のプログラム 2,400人の大学院生全員に以下を支給

■ 給付金

- ・ 年間32,400ドル（約360万円）
- ・ 5年目までは大学が負担。6年目以降はプログラムの責任

■ 学費の免除

- ・ 学費は1~3年目：年間61,900ドル（約692万円）
- ・ 4年目~：年間12,000ドル（約134万円）
- ・ 5年目までは大学が全額負担。6年目以降はプログラムが負担

出典：令和元年12月19日CST1木曜会合 机上配付資料（松尾議員提出）を元に作成

【参考】NSF（アメリカ国立科学財団）における取組の例

- ① 大学院研究奨学金プログラム (GRFP) [2017年度予算：3億19百万ドル]
 - ・ 将来の活躍が期待される大学院生に、奨学金と授業料を3年間支援。
- ② 研究者育成奨学金 (NRT) [2017年度予算規模：53百万ドル]
 - ・ NSFが指定する分野横断的な研究テーマに取り組む大学のプログラムに参加する大学院生の奨学金を支援。
- ③ サイバーコア奨学金 [2017年度予算規模：55百万ドル]
 - ・ 情報技術やサイバーセキュリティを学ぶ大学院生に対し、奨学金や授業料等を3~5年間支援。

博士課程における処遇の向上について（続き）

今後の方向性（検討中）

○政策資源を総動員して、博士課程学生の処遇を改善。以下の取組を重点的に強化。

[重点的取組①：教授などのP Iからの支援]

- 競争的資金や企業との共同研究費の直接経費からの支援

改革の方向性

「研究者」としての活動の適正な対価の支払いを当たり前！

※直接経費の十分な確保が重要

[重点的取組②：国から（学生個人への直接）の支援]

- 日本学術振興会(JSPS)特別研究員(DC)、日本学生支援機構奨学金による支援

改革の方向性

多様な学術を支える若手研究者を育成する制度として継続的に実施

[重点的取組③：所属機関（大学）からの支援]

- 大学の自主財源(運交金、間接経費等)による学内奨学金等による支援

改革の方向性

AI、量子などの人材ニーズに対応して、大学が戦略的に確保する優秀な博士課程学生に対し、在学中の生活から修了後のポストの獲得まで両方を一体的に支援する新たなスキームを検討